

ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujiikoen Furusato Museum



Future

Life



History

Region



Nature

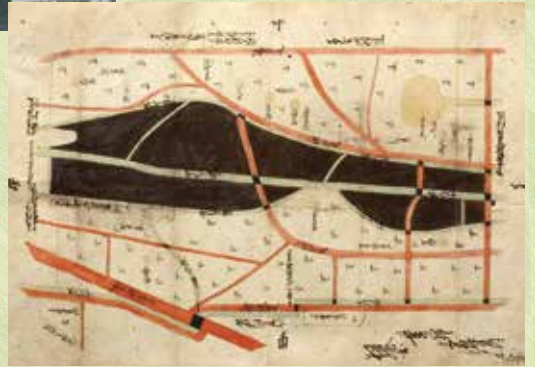
Nature

Landscape



Culture

Story



中央 練馬区立石神井公園ふるさと文化館外観
中央上から時計回り
「江戸名所図会」より「石神井明神祠」 天保5(1834)~7(1836)年、「石神井絵はがき」より三宝寺池 昭和10(1935)年頃、
上石神井村絵図(北を上に表示、右上の丸い部分は三宝寺池) 江戸時代(区登録文化財)、深鉢形連弧縄文土器 縄文時代中期、
「交通系統沿線整理地画図」より「武蔵野電車沿線整理地画図」(部分) 昭和13(1938)年、「泰盈本豊島家系図」享保5(1720)~11(1726)年(区登録文化財)、
府立第四公衆游泳場(通称:石神井プール)にて開催された報知新聞主催の少年水上競技大会で「石神井游泳団」が優勝した際の記念写真 大正14(1925)年8月17日

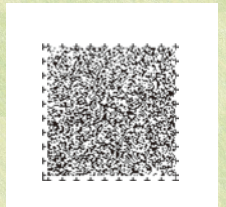
観覧無料

企画展 石神井ものがたり

令和7年

1月18日(土) ▶ 3月16日(日)

練馬区立 石神井公園
ふるさと文化館
NERIMA SHAKUJIKOEN FURUSATO MUSEUM



Uni-Voice

会 期: 令和7年1月18日(土)~3月16日(日)

会 場: 石神井公園ふるさと文化館2階 企画展示室

観覧料: 無料

石神井は、三宝寺池の湧水や石神井川の流に恵まれ、人びとが水と関わりながら暮らしてきた地です。水の恩恵を受けて、旧石器時代から人びとの生活が営まれ、中世には、石神井川流域に勢力を拡大した豊島氏によって石神井城が築かれました。近世になると、江戸近郊農村として発展するとともに、三宝寺池周辺は風光明媚な場所として、江戸の文人にも知られるようになりました。枯れることなく湧き出る水源である三宝寺池にまつられた弁天社(現巖島神社)は石神井川下流の人びとから信仰を集め、祭礼時には江戸からも多くの人びとが訪れ、賑わいました。三宝寺池には主がいると信じられており、伝説も伝わっています。

近代になり、大正4(1915)年に武蔵野鉄道(現西武池袋線)が開通すると、鉄道会社が発行する沿線案内などで観光地として紹介されました。冷たく澄んだ水が豊富に湧くことから、氷河期から生き残っている水生植物も生育しており、三宝寺池沼沢植物群落は、昭和10(1935)年に国指定天然記念物となりました。日本初の100メートルプールといわれる「府立第四公衆游泳場」(通称: 石神井プール)が開設されたり、三宝寺池から石神井川にそそぐ流水を利用した石神井池(ポート池)が造成されたりして、より多くの人々が都心部から訪れるようになりました。

練馬区立石神井公園ふるさと文化館は、平成22(2010)年3月に開館し、令和7(2025)年3月に15年目を迎えます。地元の石神井についてより一層理解を深める機会とするため、本展を開催します。



大正10(1921)年頃の石神井駅(現石神井公園駅)前
背後に写るのは、武蔵野鉄道(現西武池袋線)が大正4(1915)年に開通したことを記念して造立された「石神井火車站之碑」(区登録文化財)。現在も石神井公園駅前にあります。



石神井水泳場 六百分ノ一ノ図
大正9(1920)年頃
東西100メートル、南北20~30メートルで、三宝寺池の北東部に作られました。

関連イベント

講演会 石神井のあゆみ

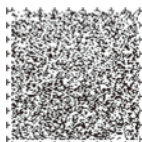
日時	2月24日(月・休) 14時~15時30分
参加費	無料
講師	当館学芸員
定員	90名(抽選)
会場	石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室
申込	事前申込制

展示解説会

日時	2月11日(火・祝)、2月26日(水) 各回14時~(30分程度)
参加費	無料
会場	石神井公園ふるさと文化館 2階 企画展示室(直接会場にお集まりください)

石神井ガイドツアー

日時	3月1日(土) 10時~12時
参加費	50円(保険料) 定員 20名
集合	石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室
申込	事前申込制(先着順)



※このほか、スタンプラリーなどを開催します。詳しくは、本展チラシ、当館ホームページをご覧ください。



コラム 150年の歴史を持つ石神井小学校の設立の頃

当館より徒歩3分の場所にある練馬区立石神井小学校は、令和6(2024)年、開校150周年を迎えました。これを記念し、石神井小学校設立の頃を振り返ります。

近代になり、明治政府は近代的な教育制度の基となる「学制」を、明治5(1872)年に発布しました。江戸時代から営まれた寺子屋は廃止の方針となりましたが、明治6(1873)年、暫定的措置として東京府は寺子屋が「開学願書」を提出することで、存続を認めました。この時、石神井周辺では7つの「開学願書」が提出されました。「開学願書」には寺子屋での授業内容が記載されており、下土支田村の加藤政八が提出した「開学願書」からは、授業は午前7時から午後4時まで、日曜が定休、科目は筆道・読書・算術で、授業料は徴収していないことなどが読み取れます。

明治4(1871)年に施行された地方制度の第八大区八小区の戸長である本橋寛成は、明治7(1874)年に地域の教育制度を整えるため、八小区に属する上石神井村・下石神井村・関村・上土支田村・下土支田村で話し合いを行い、小学校の設置計画を立てました。明治7年4月、東京府へ提出された豊島学校(現石神井小学校)の設立願には「願之通」「豊島学校ト可相称事」とあり、豊島学校という校名が地域の人々によって考えられた名前であることがわかります。これにより、明治7年5

月、下石神井村の禅定院(石神井町5-19)の堂宇を使用して、第三中学区第五番小学豊島学校(現石神井小学校)が設立されました。教員は下土支田村で寺子屋を営んでいた加藤政八で、生徒数は70人です。授業料は月謝で20~25銭でしたが、困窮者には柔軟に対応したようです。豊島学校では教員の給料は八小区の村々で分担して支払われていました。明治初期の小学校は、地域の人々によって支えられ、運営されていたのです。

明治7年9月には、分校の設立願が提出され、下土支田村の加藤政八塾が第一分校(現豊溪小学校)、上土支田村の加藤金五郎塾が第二分校(現大泉小学校)、関村の軽部孝輪塾が第三分校(現石神井西小学校)として設立されました。明治8(1875)年、下土支田村で暫定的に存続していた寺子屋は加藤熊五郎塾が第四分校として開校し、石神井周辺の八小区では教育制度が整いました。

その後、豊島学校には、高等科が併設されて、明治35(1902)年に石神井尋常高等小学校となり、明治43(1910)年に現在の石神井図書館の地に移りました。道を挟んだ向かい、現在石神井小学校がある場所には、大正13(1924)年に運動場が作られたのち、昭和38(1963)年に校舎が移り、現在に至っています。

(学芸員 小宮佐知子)

第12回 ねりま手工芸公募展

令和6年9月1日(日)から7日(土)にかけて、当館企画展示室において、第12回ねりま手工芸公募展が開催され、応募のあったさまざまなジャンルの作品の中から、49点が展示されました。各賞の受賞者を紹介します。

練馬区長賞

山下 幸福 作 「普段使いの木の器」

ふるさと文化館館長賞

吉田 勝一 作 「^{きのうろ}樹洞で雛を育てるトラフズク」

練馬区手工芸作家連盟会長賞

米谷 拓 作 「カービングシザーケースベルトセット」

練馬区伝統工芸会会長賞

中野 はるか 作 「^{しょうじょう}猩々」

優秀賞

木谷 雅子 作 「思い出の四季」

横尾 恵子 作 「楽しい時間」

志波 信行 作 「アーチトップウクレレ」

金淵 智子 作 「シンメトリー之美」

太原 まり子 作 「祝♥辰年 還暦」

西村 薫 作 「餌を求めて」

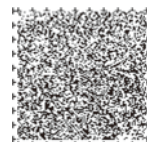


練馬区長賞



次回の手工芸公募展は、令和7年6月頃に作品を募集し、9月頃に展示会を開催する予定です。是非ご出品ください。

主催 ねりま手工芸公募展実行委員会(練馬区手工芸作家連盟・練馬区伝統工芸会・公益財団法人練馬区文化振興協会・練馬区)



催し物のご案内(1月~3月)

石神井公園ふるさと文化館展覧会

企画展「石神井ものがたり」

1月18日(土)~3月16日(日)

※展覧会および開催イベントの詳細等につきましては、2ページをご覧ください。

季節展示

旧内田家住宅にて歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。

正月飾り	12月27日(金)~1月7日(火)	観覧無料
まゆ玉飾り	1月8日(水)~15日(水)	観覧無料
ひな飾り	2月22日(土)~3月4日(火)	観覧無料

ふるさと文化講座

歴史・民俗・自然など様々なテーマの講座を行います。

漫画作品に描かれた考古学者 —考古学とポップカルチャーの関係を探る—

2月9日(日) 14時~15時30分

講師 櫻井準也(尚美学園大学名誉教授・客員教授)

定員 90名(抽選) 参加費 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

申込 事前申込制

その他イベント

重ね捺しスタンプラリー(仮称)

1月18日(土)~3月16日(日)

参加費 無料

石神井公園ふるさと文化館およびその周辺を巡り、スタンプを重ねて捺して、1枚の絵を完成させよう。

その他イベント

絵本とあそび会

1月12日(日) 14時~14時45分

3月16日(日) 14時~14時45分

対象 幼児~小学生と保護者 定員 50名

読み手 練馬区立南田中図書館司書

参加費 無料 申込 事前申込制

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

石神井中学校演劇部による絵本とおはなしの会

3月15日(土) 14時~15時

対象 幼児~小学生と保護者 定員 30名(抽選)

出演 石神井中学校演劇部

参加費 無料 申込 事前申込制

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

分室

五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート

1月25日(土)、3月22日(土)

①13時30分~15時 ②15時30分~17時

対象 中学生以上 定員 各回20名(抽選)

参加費 各回300~500円(解説員により異なる)

会場 石神井松の風文化公園管理棟2階
五味康祐オーディオ展示室

申込 事前申込制

区内大学との連携コンサート

日本大学芸術学部学生によるサロンコンサート

1月26日(日) 14時~15時

対象 小学生以上 定員 100名(抽選) 参加費 無料

会場 石神井松の風文化公園管理棟2階 多目的室

申込 事前申込制

※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、なりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

利用のご案内(令和6年12月現在)

開館時間 9時~18時(会議室の利用は、9時~21時30分) 入館無料 ※特別展は一部を除いて有料
休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日~1月3日)、臨時休館日

石神井公園ふるさと文化館

徒歩10分

分室

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分
西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分

西武バス 荻14

(石神井公園駅南口~上井草駅~荻窪駅)

みどりバス 関町ルート(関町福祉園~武蔵関駅南口~
上石神井駅~練馬高野台駅~順天堂練馬病院)
「JA東京あおば」下車 徒歩5分

西武バス 荻15(長久保~大泉学園駅南口~上井草駅~
荻窪駅~阿佐ヶ谷駅)
「三宝寺池」下車 徒歩2分

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

西武バス 吉60(成増町~石神井公園駅北口
~上石神井駅~吉祥寺駅)

西武バス 荻15(長久保~大泉学園駅南口~上井草駅
~荻窪駅~阿佐ヶ谷駅)
「石神井郵便局」下車 徒歩3分



石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.53

令和6(2024)年12月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(公益財団法人練馬区文化振興協会)

ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>

石神井公園ふるさと文化館 住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館分室 住所 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44

TEL:03-3996-4060 FAX:03-3996-4061